

予 算 要 求 資 料

令和6年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名 農業用施設等災害対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 担い手対策室 電話番号：058-272-1111 (内4089)
経営体強化育成係 E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 41,800 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	41,800	0	0	0	0	0	0	0	41,800
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本年3月の季節外れの寒波により、3月12日～20日ごろ飛騨地域で大雪となり、その影響で高山市内ハウス等の農業用施設に被害が発生した。

(被害棟数：259棟(うち全壊212棟) 被害総額 約139,233千円)

災害により被害が生じた県内の農業用施設の復旧を速やかに実施するため、「岐阜県農業用施設等災害対策事業費補助金交付要綱」に基づき、1回の災害による農業用施設等の県内の被害額が1億円を超える災害により被害を受けた市町村(事業主体：高山市)が実施する災害対策事業に対する支援を行う。

なお、本件は国の補助金を活用できないため、県単独での補助を行う。

(2) 事業内容

1回の災害による農業用施設の県内の被害総額が1億円を超える災害が発生した時に、復旧にかかる経費の一部を助成する。

【対象市町村】高山市

(3) 県負担・補助率の考え方

【補助率】 補助対象経費の10/10未満の額

【上限額】 ①事業費×3/10

② (事業費×1/2) - (支払共済金×1/2)

①又は②のいずれか低い額

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	41,800	農業用施設（パイプハウス等）の復旧及び倒壊したハウスの解体撤去
合計	41,800	

決定額の考え方

4 参考事項

○直近の発動状況

令和5年11月飛騨地域（高山市、飛騨市）雪害時も同様の対応をしており、支援は妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農業用施設等災害対策事業費補助金
補助事業者(団体)	高山市
補助事業の概要	<p>(目的) 令和6年3月12日～20日に発生した雪害による農業用施設等の災害復旧支援</p> <p>(内容) 農業用施設等の県内の被害総額が1億円を超える災害により被害を受けた市町村が実施する、災害対策事業に対する支援</p>
補助率・補助単価等	<p>定率</p> <p>補助対象経費の10分の10(間接補助事業費に10分の3を乗じて得た額又は間接補助事業費に2分の1を乗じて得た額から支払共済金に2分の1を乗じて得た額を差し引いて得た額のいずれか低い額を限度とする)未満の額</p>
補助効果	被害を受けた農業者の経営への影響が最小限となるよう支援
終期の設定	<p>終期6年度</p> <p>(理由) 災害復旧のため</p>

(事業目標)

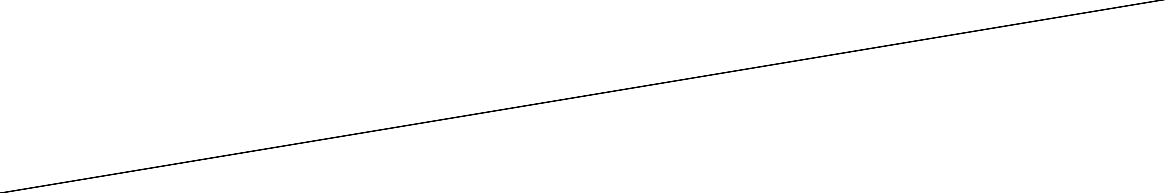
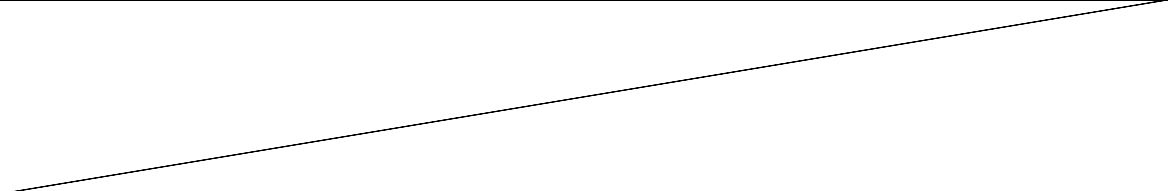
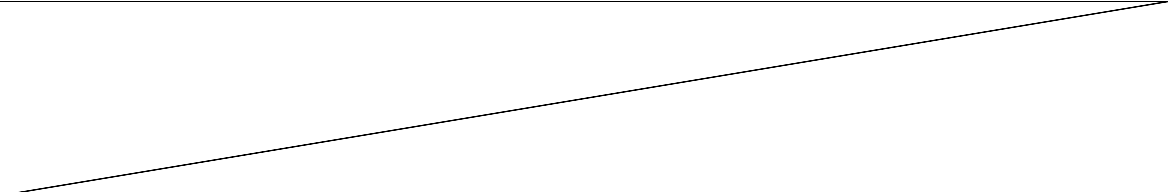
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

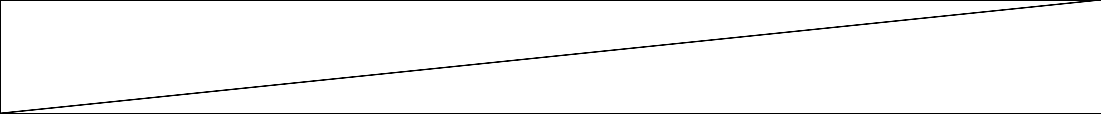
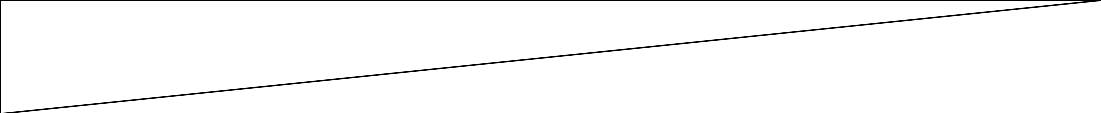
指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	
					(要求額) 41,800千円	達成率

補助金交付実績 (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	災害復旧支援のため、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--